

CRIMINAL DEDUCING DEVICE OF STOLEN VEHICLE

Publication number: JP2001322533

Publication date: 2001-11-20

Inventor: SUGIURA HIROSHI

Applicant: SUGIURA HIROSHI

Classification:


- international: *B60R25/00; G03B17/38; G11B31/00; H04N5/225; H04N5/232; H04N7/18; B60R25/00; G03B17/38; G11B31/00; H04N5/225; H04N5/232; H04N7/18; (IPC1-7): B60R25/00; G11B31/00; H04N5/225; H04N5/232; H04N7/18*

- european: B60R25/00; G03B17/38

Application number: JP20000145064 20000517

Priority number(s): JP20000145064 20000517

Also published as:

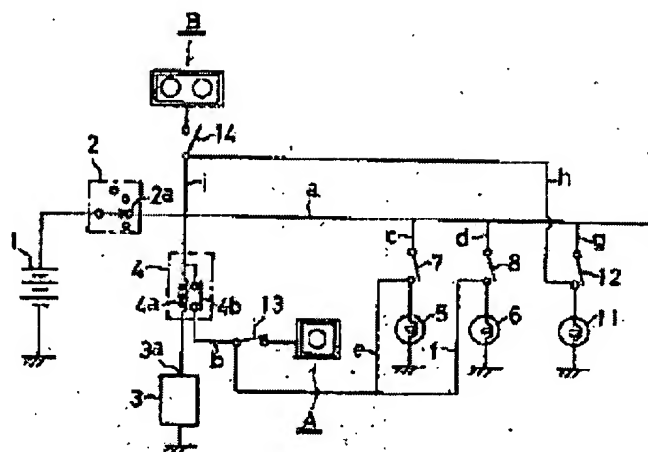
 WO0187677 (A1)

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2001322533

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a criminal deducing device of a stolen vehicle being arranged in an automobile having the high possibility of being aimed by a criminal and automatically photographing the criminal seated on a driver's seat and recording voice.

SOLUTION: This device is provided with a hidden camera being arranged in front of the driver's seat for photographing the criminal and a shutter circuit constituted so as to click a motor-driven shutter of the camera when rotating a key to an ON contact point by electrically continuing with the ON contact point of an engine key switch. The shutter circuit is provided to be constituted so as to click the shutter every time when operating a direction indicating lever by electrically continuing with a lighting circuit of a turn signal lamp. A power terminal of a sound recorder for recording the voice of the criminal is connected to a door switch circuit to record the voice only when opening a door. The power terminal of the sound recorder is connected so as to electrically continue with the ON contact point of the key switch to continuously record the voice when operating an engine.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-322533
(P2001-322533A)

(43) 公開日 平成13年11月20日 (2001.11.20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
B 6 0 R 25/00	6 0 9	B 6 0 R 25/00	6 0 9 5 C 0 2 2
G 1 1 B 31/00	5 2 3	G 1 1 B 31/00	5 2 3 Z 5 C 0 5 4
H 0 4 N 5/225		H 0 4 N 5/225	C
5/232		5/232	Z
7/18		7/18	E

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-145064(P2000-145064)

(22) 出願日 平成12年5月17日 (2000.5.17)

(71) 出願人 500223822

杉浦 弘

名古屋市千種区吹上2-2-6

(72) 発明者 杉浦 弘

名古屋市千種区吹上2-2-6

(74) 代理人 100068663

弁理士 松波 祥文

Fターム(参考) 5C022 AA05 AC32 AC69 AC72 AC75
CA00

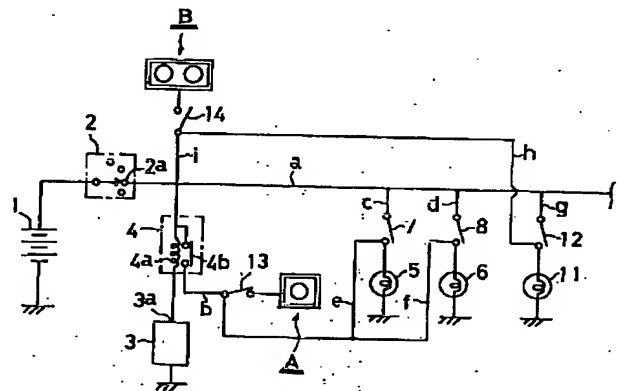
5C054 AA01 CA04 CB04 CC05 CD03
CE06 CG04 EA01 FC12 FF03
FF06 HA18

(54) 【発明の名称】 盗難車両の犯人割り出し装置

(57) 【要約】

【課題】 犯人に狙われる可能性の高い自動車に設置して、運転席に着座した犯人の撮影や、声の録音を自動的に行える、盗難車両の犯人割り出し装置を提供する。

【解決手段】 装置は、運転席の前面に設置して犯人を写す隠しカメラと、エンジンキースイッチのオン接点に導通させて、キーをオン接点に回動させた時、カメラの電動シャッターが切られる様に構成したシャッター回路とを備える。更に、ターンシグナルランプの点灯回路に導通させて、方向指示レバーを操作する都度、シャッターが切られる様に構成したシャッター回路を備える。又、犯人の声を録音する録音機の電源端子を、ドアスイッチ回路に接続し、ドアの解放時に限って録音される様にする。更に、録音機の電源端子を、キースイッチのオン接点に導通する様に接続して、エンジンの作動中、録音し続けられる様にする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 運転席の前面に設置して犯人を写す隠しカメラと、エンジンキースwitchのオン接点に導通させて、キーをオン接点に回動させた時、カメラの電動シャッターが切られる様に構成したシャッター回路とを備えることを特徴とする盗難車両の犯人割り出し装置。

【請求項2】 運転席の前面に設置して犯人を写す隠しカメラと、ターンシグナルランプの点灯回路に導通させて、方向指示レバーを操作する都度、カメラの電動シャッターが切られる様に構成したシャッター回路とを備えることを特徴とする盗難車両の犯人割り出し装置。

【請求項3】 犯人の声を録音する録音機の電源端子を、ドアスイッチ回路に接続し、ドアの解放時に限って録音される様にしたことを特徴とする盗難車両の犯人割り出し装置。

【請求項4】 犯人の声を録音する録音機の電源端子を、キースwitchのオン接点に導通する様に接続したことを特徴とする盗難車両の犯人割り出し装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、現金輸送車に代表される、金銭的価値が極めて高い自動車に、盗賊に奪われた場合に、運転席に着座した犯人を自動的にカメラに写し、又、犯人の声を自動的に録音出来る様にした、盗難車両の犯人割り出し装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、現金輸送車等が盗賊に奪われる事件が起こった場合には、車の搭乗者や、現場に居合わせた目撃者が記憶していた、犯人の人相、声、着衣、或いは、犯人が残した指紋や遺留品等を、犯人割り出しの手掛かりとするのが一般だった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】然しながら、人の記憶力はさ程当てにならないものである。ましてや、突発的に発生し、然も、危険な事件現場では尚更である。そして、指紋の照合や、遺留品の出所の割り出し作業等には、膨大な労力と時間を要するものである。そのうえ、犯人未逮捕のまま、時効を迎えることも少なくない。

【0004】そこで、本発明の目的は、犯人に狙われる可能性の高い自動車に設置して置き、運転席に着座した犯人像の撮影や、声の録音を自動的に行える様にした、盗難車両の犯人割り出し装置を提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成する為の、本発明による、カメラを用いた盗難車両の犯人割り出し装置は、運転席の前面に設置して犯人を写す隠しカメラと、エンジンキースwitchのオン接点に導通させて、キーをオン接点に回動させた時、カメラの電動シャ

ッターが切られる様に構成したシャッター回路とを備えることを特徴とする。更に、ターンシグナルランプの点灯回路に導通させて、方向指示レバーを操作する都度、カメラの電動シャッターが切られる様に構成したシャッター回路を設ける。

【0006】又、本発明による、録音機を用いた盗難車両の犯人割り出し装置は、犯人の声を録音する録音機の電源端子を、ドアスイッチ回路に接続し、ドアの解放時に限って録音される様にしたことを特徴とする。更に、犯人の声を録音する録音機の電源端子を、キースwitchのオン接点に導通する様に接続する。

【0007】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の一実施例に就いて、図1を参照しながら説明する。図1は、運転席に着座した犯人を撮影する為の、電動（電子）シャッターを備えた隠しカメラAと、自動車に乗り込んだ犯人の声を録音する録音機Bとを、夫々自動的に作動させる為の、作動回路の一例を示している。

【0008】バッテリー1に連なる給電主回路aには、エンジンのキースwitch2が介在されている。キースwitch2のオン接点2aと、オルタネータ3のL接点3aとを結ぶ回路には、常開型のリレー4の、コイル4aを介在させている。

【0009】リレー4の接点4bの一方の端子は、オン接点2aに、他方の接点は、主シャッター回路bを経てカメラAの電動シャッター（図示略）に導通させている。隠し撮り用のカメラAは、計器盤の背後等に組み込まれている。

【0010】主給電回路aには、自動車の進行方向を後続車に予告する為の、方向指示レバー（図示略）の操作に伴って通電される、右ターン時点灯回路c、及び左ターン時点灯回路dを、分岐接続している。

【0011】5及び6は、右及び左ターンシグナルランプであり、7及び8は、夫々の点滅用スイッチ（リレー）である。スイッチ7及び8の各出力側端子と、カメラAの電動シャッターとは、副シャッター回路e及びfを介して結ばれている。

【0012】又、主給電回路aには、ドアの開放時に、ドアランプ11等を点灯させるドアスイッチ回路gを、分岐接続させている。12はドアスイッチで、その出力側端子は、録音回路hを介して、録音機の電源端子（図示略）に導通させている。

【0013】更に、録音機Bの電源端子は、主録音回路iを介してキースwitch2のオン接点2aに導通させている。

【0014】尚、主シャッター回路b、及び主録音回路iには、手動スイッチ13及び14を介在させている。連動式の両スイッチ13、14は、装置を、平常時は休止状態に保ち、自動車の運転者が車を離れる際等に、必要に応じて装置を作動状態にセットする為のものであ

る。

【0015】次に、上記構成の作用に就いて説明する。
 先ず、犯人が奪った自動車に乗り込んで、キースイッチ2を入れると、キーがオン接点2a迄に回転された時、リレー4のコイル4aに通電されて、その接点4bが閉じ、カメラAの電動シャッターに作動電流が流れる。
 尚、この時点では、オルタネータ3のL端子3aはアースされている。

【0016】キーは、オン接点2aを経て直ちにスタート接点迄回転されるので、エンジンが起動し、且つ、オルタネータ3が発電を開始する。それに伴って、L端子3aにバッテリー電圧が掛かるので、コイル4aの両端間の電位差が無くなり、リレー4がオフ作動して、主シャッター回路bへの通電が断たれる。

【0017】次に、発進した自動車が交差点に差し掛かり、方向指示レバーが操作すると、副シャッター回路e又はfに、電流が間欠的に流れる。その為、犯人が方向指示レバーを操作する都度、電動シャッターが間欠的に作動して、レバーを復帰操作する迄、犯人像を間欠的に撮影し続ける。

【0018】又、犯人が自動車のドアを開けると、ドアの開放中は、ドアスイッチ回路gに通電されるので、この間は、録音機Bが作動して犯人の声が録音され続ける。尚、主録音回路iのスイッチ14を閉ざして置けば、エンジンの作動中は、録音機Bが作動し続ける。

【0019】尚、電動シャッター付きのカメラは、公知の様々なタイプのものの中から、適宜に選択して用いられたい。

【0020】

【発明の効果】以上の説明によって明らかな様に、本発明による盗難車両の犯人割り出し装置は、以下に列挙した如き実用上の優れた効果を奏する。

(a) 装置は、既存の自動車に極く簡単に取付けられる。

(b) 犯人が、奪った自動車を始動させた時、及び方向指示レバーを操作する都度、隠しカメラが犯人像を自動的に撮影してくれる。

(c) 又、犯人が自動車のドアを開けている間に、その声が自動的に録音される。

(d) 従って、犯人の目撃者が居なくても、犯人の姿と

声が、100%正確に撮影され、且つ、録音されると共に、犯人の人数も判断出来る。

(e) 目撃者が居ても、その犯人像や声の記憶は不確実なのが一般なので、装置が記録した情報の方が、比較にならない程、利用価値が高い。

(f) 又、目撃者の記憶情報や、指紋、遺留品等を手掛かりに操作を進める場合に比べて、犯人割り出しに要する労力と時間を遙かに節減出来る。

(g) その分、犯人捜査に使われる貴重な国費を、従来とは較べものにならない程節約出来る。

(h) そして、犯人を早期に検挙できる分、盗まれた金品をより早く、より多く回収出来る。

(i) 得られる情報が正確なので、誤逮捕による人権侵害問題や、労力の無駄使いも省ける。

(j) 犯行を思い留まらせるにも、間接的に役立つ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の、電気回路図である。

【符号の説明】

A 隠しカメラ

B 録音機

1 バッテリー

2 キースイッチ

2a オン接点

3 オルタネータ

3a L接点

4 リレー

4a コイル

4b 接点

5, 6 右及び左ターンシグナルランプ

7, 8 スイッチ

11 ドアランプ

12 ドアスイッチ

13, 14 手動スイッチ

a 主給電回路

b 主シャッター回路

c, d 右, 左ターン時点灯回路

e, f 副シャッター回路

g ドアスイッチ回路

h 録音回路

i 主録音回路

【図1】

